

西条市総合計画審議会議事録

日時：令和6年4月23日（火）午後1時30分から午後2時15分まで

場所：本庁5階502会議室

出席委員：10名 ※欠席委員 1名

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 会長及び副会長の選任

会長：愛媛大学教授 西村勝志氏 副会長：松山大学教授 東渕則之氏 選任

- 5 会長及び副会長挨拶
- 6 諮問
- 7 議題

(1) 西条市総合計画策定方針及び策定スケジュールについて

資料3【第3期西条市総合計画 策定方針】、資料4【西条市総合計画策定委員会およびプロジェクトチーム体制】、資料5【策定スケジュール（実績・予定）】について説明

質疑なし

(2) 基本構想（素案）審議について

資料7【序論・基本構想（案）】について説明

■会長

人口推移について、他市と比べるとうらやましい限りの状況であると感じている。住みやすいまち、西条に対しての評価がこういう形で表れているのかなという風にも思っている。

8 意見交換

■委員

「デジタル田園都市国家構想総合戦略」について、どういう方向性でどういうことをするのか、教えていただきたい。

□事務局

デジタル田園都市国家総合戦略につきましては、従前からのまち・ひと・しごと創生総合戦略を引き継ぐ形で、これにデジタルという手段を加えて、今後も総合計画と一体的にまちづくりを進めていく計画になっている。デジタルを活用することにより、行政運営や地域住民とのやりとり等を円滑にスムーズに進めていく計画として、具体的に定めるか包括的に定めるかという議論はあるが、そういった視点を本計画に盛り込むこととなっている。

■会長

デジタルの力を使って、地方でも都会と変わらないような生活、暮らしやすい便利な生活ができるような構想・戦略ということで、西条市が日本の代表になれるような可能性もあり得ると思う。ちょっと大きくは言いましたが。

■会長

総合計画策定委員会を副市長や部長級で構成し、課長級がワーキンググループとして協議を進め、さらに、市議会を通して、この審議会において審議をしていく。もう二重にも三重にも確認作業を行い審議する形となっている。また、市民と一緒に策定していくため、意見募集も進めていくということで、なかなかこの場で意見を出しにくい状況でもあると思う。個人的には、施策（基本計画）の議論に入る時に、もう少し踏み込んだ意見が出るのではないかと考えている。

■会長

令和5年に行われたアンケート調査について、高校生も対象にして実施したと聞いている。現在、投票権が18歳からとなり、高校生にもこのようなアンケートを行うことで、教育上の姿勢を含めて、若者の政治離れをなくすことにつながる。また、市政に関心を持ってもらえる機会にもなり、地元愛の醸成にもつながることが期待できる。例えば、県外に転出したとしても、Uターンしてもらえることも期待できる。できれば、西条市の高校生全員を対象に、さまざまな施策についての出張授業やアンケート調査等を毎年やっていくと、それらが積み重なっていい教育ができるかなと思う。

■会長（まとめ）

少子高齢化、人口減少が一層今深刻化している。そして、円安や物価上昇による経済面の悪化、それから南海トラフや今年の1月1日の能登半島地震など、地域レジリエンスに対する市民の危機感、そして対応への期待も非常に高まっていると思う。そして、DX等を含めた高度デジタル化社会の進展が進んでおり、さらには、子育て、教育、高齢者、それから障がい者、そして国内から、あるいは海外からの移住者までさまざまな多様な人々、そしてそれによる多様なニーズも今どんどん変わっていると感じている。さらに、経済の基盤ということで、地域産業を振興していかなければいけないという状況もある。持続可能な西条を目指すためには、本日の議題である総合計画の策定、これは、基本構想だけでなく、その次の基本計画、実施計画が下支えになっていかなければならない。また、西条市に人が住み続けられ、安心して暮らせる地方都市として、日本の主役に躍り出るような気持ちでいる。そういう主役に躍り出るような西条市を打ち出していくためにも、基本計画や実施計画について、「LOVE SAIJO まちへの愛が未来をつくる」、これを合言葉にして、市民と行政が協働し、計画策定が盛り込まれ、そして実施されることで持続可能な西条市が実現していくことが期待できる。こういったところで、皆様方のさらなる協力をよろしくお願いいたします。

9 その他

(1) 今後のスケジュールについて

資料5【策定スケジュール（実績・予定）】、資料8【第3期西条市総合計画の構成（案）】について説明

10 閉会